

葉栗連区 地域づくり協議会だより

令和6年7月(93号)



葉栗 HP

発行日：令和6年7月1日 発行者：葉栗連区地域づくり協議会
一宮市大毛字南出120番地（葉栗出張所内） 電話：28-9001
ホームページ：<https://138haguri.org>（スマホからは上記 QR コードより）

葉栗連区の人口と世帯数 <2024.6.1 現在> 人口 16,114 人（男 7,877 人 女 8,237 人）世帯数 6,915 世帯

☆ 木曽川堤（サクラ）を守り続けよう ☆

6月8日(土)に名勝および天然記念物「木曽川堤(サクラ)」の保全活動を行いました。活動は光明寺サクラを守る会(旧称：光明寺緑地保全会)の主催で、葉栗連区地域づくり協議会と葉栗連区町会長会および葉栗連区公民館の共催でした。

「木曽川堤(サクラ)」は、1885年(明治18年)に、一宮市北方町から江南市草井まで約9キロの間に1,800本の桜が植樹されたと言われていいます。

今年の2月、老齢化し倒木の危険性のある桜65本が伐採され、一宮市地区内の現存本数は559本と減少しており、樹の保全が急務の課題になっています。

葉栗連区の保全活動は、毎年2回(1月と6月)に肥料の埋め込みや、樹に絡まった葛のツルの除去などを行っています。

この桜は2027年(令和9年)8月11日に名勝および天然記念物の指定を受けて100周年を迎えることから、当連区としても更に機運を高め、浅井連区、北方連区とも協調して現存する桜の保全活動を行っていきたく考えています。いつまでも元気に咲き誇る木曽川堤(サクラ)を守るため、皆さまのご理解とご支援ご協力をお願いいたします。



今年も元気に咲きました。R6年4月撮影



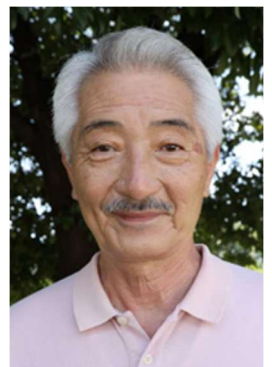
☆ 光明寺サクラを守る会 会長就任あいさつ ☆ 大山 博氏

光明寺サクラを守る会会長を務めることになりました杉山町内の大山博です。

今までありました光明寺緑地保全会の名称及び規約を改正し、地域の宝である木曽川堤(サクラ)の減少に危機感を感じ、より一層きめ細かい保守保全対策を実施することを目指します。

2027年8月には、名勝及び天然記念物に指定されて100年を迎えるにあたり、次世代により多くの桜を残せるかが今後の課題になります。

毎年実施している桜の保全活動についても、連区内の多くの方に参加していただける体制を考えております。毎年元気な桜が鑑賞できるように、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



☆ 最高の思い出 修学旅行 ☆ 葉栗中学校

5月21日(火)～23日(木)の3日間、3年生は修学旅行に出かけました。今年のスローガン「青春謳歌 ～ Let's create memories for a lifetime～」には、ルールとマナーを守って、仲間と楽しく過ごし、最高の思い出をつくろうという思いが込められています。1日目は静岡県河口湖周辺で洞窟探検やトレッキングなどの体験活動を行いました。そして夜はペンションに宿泊し、仲間との交流を深めることができました。2日目は、多くの生徒が楽しみにしていたディズニーランドで、とても楽しい時間を過ごすことができました。3日目は、東京都内で、上野動物園、東京国立博物館、国立科学博物館、湯島天満宮、貨幣博物館に分かれてクラス別研修を行い、その後浅草散策を楽しみました。

3日間を通して、生徒たちは、班の仲間と協力して活動することができました。また、様々な場面において、周りを思いやって行動することができ、これまでの成長を見せてくれました。

保護者の方には、荷物の準備や当日の送り出しやお迎えなど、様々な場面でご協力をいただきました。本当にありがとうございました。 《寄稿：葉栗中学校》



☆ ふれあいを感じる 運動会 ☆ 葉栗小学校

6月1日土曜日、前日の雨がうそのような好天に恵まれ、令和6年度運動会が開催されました。

今年のスローガンは「ハッピースマイル～ai」です。「～ai」は、「愛」や「合い」など、さまざまな意味を含んでいます。運動会では、まさに仲間と競い合ったり、互いを称え合ったりすることで、みんなが笑顔になれるように、学年が、学級が、自分自身が頑張っていくという意味が込められています。

当日は、低学年、中学年、高学年それぞれが、学年に応じた「～ai」を発揮しました。競技の中には、職員や保護者の方との触れ合いの場もあり、児童、職員、保護者が一体となって笑顔で楽しむことができました。

お忙しい中ご臨席いただいたご来賓の皆さま、保護者の皆さま、運動会にお越しくださり、子どもたちの活躍をご覧いただき本当にありがとうございました。 《寄稿：葉栗小学校》



☆ 誰でも簡単なゲーム モルック教室 ☆ スポーツ推進委員事業

6月5日～7月3日の毎週水曜日午後7時から、葉栗公民館大会議室で「モルック教室」が開催されています。このモルックは、フィンランドの伝統的なゲームのキッカを元に開発されたゲームです。

長さ20cmほどの丸い棒（モルック）を投げて、地面に立て並べられた12本の木製のピン（スキttl）を倒し得点を競い、2グループ以上に分かれて行います。1本が倒れた場合、倒れたスキttlに書かれた数字が得点、複数本倒れた場合、倒れた本数が得点となります。どちらかのチームが合計得点50点ピッタリとなるまで勝負が続きます。モルックを投げるのにあまり力は必要としないため、誰でもが気楽に楽しめます。場所もあまり必要がなく屋内でも屋外でも楽しく遊ぶことができます。

また、スポーツ推進委員事業として、7月10日～8月7日の毎週水曜日午後7時から葉栗公民館大会議室で「タスポニー教室」を開催します。左右の手を使ってスポンジボールを素手で打ち合う競技で、バランス感覚の発達に役立ちます。ぜひ参加ください。当日受付も可能です。



☆ 安全・安心なまちづくり ☆ 防犯カメラ作動点検

葉栗連区内には17カ所の防犯カメラが設置されています。不審者情報の提供、侵入盗の未然防止に役立っています。今年度も3カ所に防犯カメラを設置する予定です。

5月21日から防犯カメラの作動確認を行い、いずれも正常に作動していることが確認できました。今後とも定期的に確認作業を行い、安全で安心なまちづくりに努めていきたいと思っております。



設置場所 QR コード

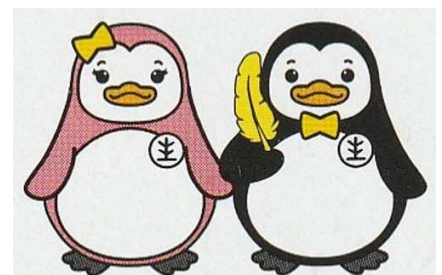


☆ 7月は“社会を明るくする運動” ☆ 再犯防止啓発月間：保護司会

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。

犯罪や非行からの立ち直りのためには、更生に向けて努力する人の未来を信じて、寄り添う人たちの存在が必要です。

現在、葉栗連区には6人の保護司さんが見えます。7月には葉栗公民館駐車場に“社会を明るくする運動”の幟旗を掲げ、また一宮七夕まつりでも啓発活動を展開しています。《文献：法務省保護局資料参照》



更生ペンギン：サラちゃん・ホゴちゃん

☆ 障がいを持つ子どもたちに ☆ 民生児童委員協議会研修会

民生児童委員協議会は5月24日(金)、静岡県掛川市にある【ねむの木学園】を訪問し、どのような環境でどのような教育をされているのか研修視察しました。

「ねむの木学園」は、ご存じの方も多いと思いますが「障がいをもつ子どもたちに教育の場を」という願いの下、創設者 宮城まり子さんが1968年に日本で初めて開設した肢体不自由児養護施設、並びに1979年に開校した肢体不自由児のための特別支援学校です。しかし、近年、知的(発達)障がいの入所依頼が増えており、ASD(自閉症)で高年齢児の問い合わせが多いと言われています。

80ヘクタールに及ぶ広大な山間に「ねむの木村」が建設され、70名の子どもたちの養育は、施設・学校両者の教職員80名の皆さんが一体となって、生活指導・学校教育その他すべてにあたっておられます。

今回は「ねむの木学園」の視察研修と共に、車中においても日頃の民生委員活動や、地域の問題で対応に困ったことなども発表、他の委員からその助言をもらうなど、委員間の意見交換ができ充実した研修会であったと感じました。

《寄稿：民生児童委員協議会》



施設へ向かう途中、子供たちが花壇の手入れ



個室でゆったり、集中して絵を描く子供の様子

お知らせ

島文楽公演動画配信



6月22日(土)に開催しました郷土の伝統芸能「島文楽公演」をYouTubeで録画配信しています。パソコン、スマホのYouTubeから「葉栗広報チャンネル」と検索か下記QRコードからご覧ください。



←葉栗広報 YouTube 動画

トイレがきれいになりました。

葉栗小学校南門の西側にある屋外トイレが、従来は和式トイレであったものを洋式トイレに改修され外壁も一新しました。

改修工事を寄贈されたのは、日頃少年野球で校庭を利用している「富塚キッズ」です。野球やサッカー、屋外活動でトイレを使用するとき和式では使いづらさが見られ、今回の改修になりました。これにより安心して利用できるようになりました。ありがとうございました。

